

(様式4)

公共事業再評価調書(案)

番号	道路-2	事業担当局課	道路局 建設課		
事業名	都市計画道路 羽沢池辺線(羽沢・菅田地区)		採択年度	昭和62年度	
施工場所	神奈川区羽沢南二丁目～緑区鴨居町		経過年数	36年	
目的及び 事業概要	<p>目的</p> <p>都市計画道路羽沢池辺線は神奈川区羽沢南二丁目を起点とし、都筑区池辺町を終点とする延長約5,050mの幹線道路です。本路線は、本市の幹線道路網の骨格となる3環状10放射道路の一つに位置づけられており、本地区の整備により、環状2号線から港北ニュータウンや東名高速青葉インターチェンジ方面へのアクセスが強化され、交通の利便性の向上が図られます。</p> <p>また、本路線は、物流上重要な道路輸送網として、令和4年4月に重要物流道路に指定されています。本路線の整備により、重要物流道路のネットワークが構築され、拠点間アクセス性が向上することで、平常時・災害時を問わない安定的な輸送が確保されるとともに、企業誘致等、地域経済の活性化も期待されます。</p> <p>なお、本事業は直近の再評価を平成23年度に実施しています。</p> <p>概要</p> <p>計画延長3,150m、幅員32～34m、用地面積 115,196㎡</p>				
			当初(事業採択時)	変更(平成23年度)	今回(令和4年度)
	事業期間		昭和62年度～平成14年度	昭和62年度～平成30年度	昭和62年度～令和4年度 (延伸予定) 令和11年度完了見込み
	事業費	合計	45,000百万円	34,600百万円	34,600百万円
		国費	22,500百万円	17,600百万円	17,600百万円
		市費	22,500百万円	17,000百万円	17,000百万円
	変更内容	事業費の確保ができなかったため、事業が予定通り進捗せず、事業期間を延伸しています。			
	上位計画等	<p>本市の「中期計画」において、「政策36 交通ネットワークの充実」として、都市計画道路の整備が位置付けられています。</p> <p>また、「横浜市地震防災戦略」においても、「緊急輸送路等の整備」として、幹線道路の整備が位置付けられています。</p> <p>今年度には、重要物流道路にも指定されており、安定的な輸送能力を確保する重要な路線です。</p>			
関連事業	—				
事業の 必要性	事業を巡る 社会経済情 勢等の変化	<p>羽沢池辺線は、市内の「内陸北部工業地域」と、貨物駅(横浜羽沢駅)や横浜港等の物流拠点とを結ぶネットワークを構築しています。このうち、「内陸北部工業地域」には大型物流倉庫の開業により、物流の交通需要が増大し、本路線の重要性が高まっています。</p>			

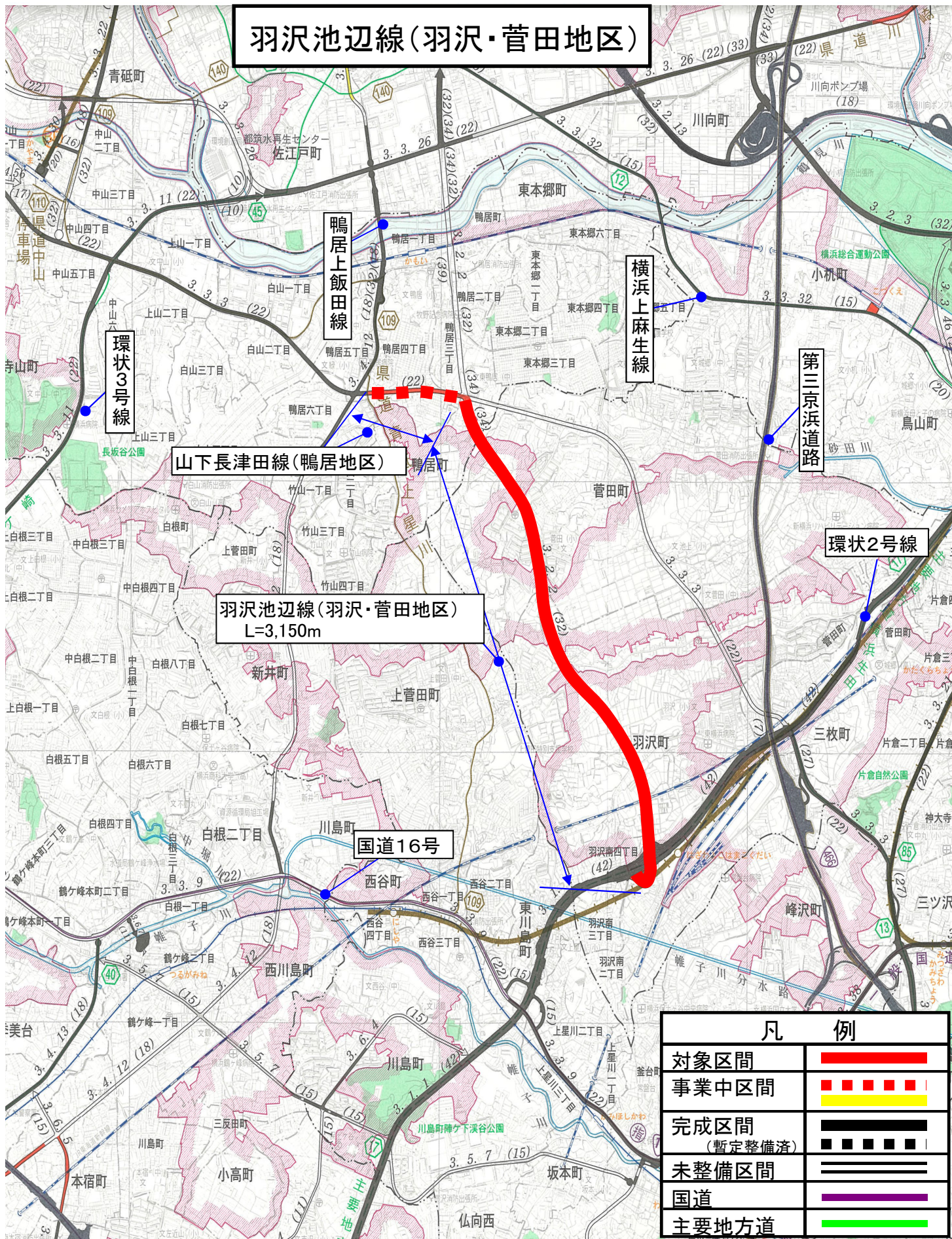
事業の 投資効果 ・ 事業効果等 (費用便益分析等)		事業全体	残事業
	割引率	4%	
	総便益(B)	1,095 億円	
	総費用(C)	460 億円	
	費用便益比 (B/C)	2.4	
	感度分析 [交通量-10%]	1.8	

事業の 進捗 状況	事業進捗率%	令和3年度末までの用地取得進捗率は86%、事業進捗率は44%と なっています。令和4年度は引き続き用地取得や設計・検討を進めて います。
	44%	
	用地取得率%	
	86%	
	供用等の状況	
	—	
事業の課題 及び進捗 見込み	令和4年4月より、重要物流道路に指定され、国として物流の観点から重要な道路に位置 付けられたことから、今後は事業進捗を見込んでいます。 引き続き、用地交渉を進めるとともに、施工可能な部分の工事を行い、令和 11 年度の完 成に向け進めていきます。	
その他 (コスト削減項目等)	建設発生土の工事間流用を行い、運搬費及び残土処理費のコスト削減を行うとともに、舗 装、構造物についても、設計段階から可能な限りコスト削減に努めます。	
その他	—	
添付資料	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	
対応方針 (案)	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り(上記計画を実施) ※1
		<input type="checkbox"/> 一部見直し(上記計画を変更) ※2
		【見直し内容】
中 止		

対応方針 (案) とし た理由	<p>本路線は、本市の幹線道路網の骨格をなす3環状10放射道路に位置付けられており、本 市道路網の形成に果たす役割は大きく、早期に事業完了を図る必要があります。更に、重要 物流道路に指定され、国として物流の観点から重要な道路に位置付けられたことから、本路 線の重要性が高まっています。</p> <p>また、用地取得率は86%に達しており、一部、工事着手をしていることから、事業を継続実 施する必要があると判断します。</p>
-----------------------	--

※1：既に見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。前の再評価で「継続(一部見直し)」の事業
についても、その見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。

※2：今後、見直しを行うことが確定している事業は、こちらを選択し、見直し内容を記載してください。



羽沢池辺線(羽沢・菅田地区)

鴨居上飯田線

横滨上麻生線

環状3号線

山下長津田線(鴨居地区)

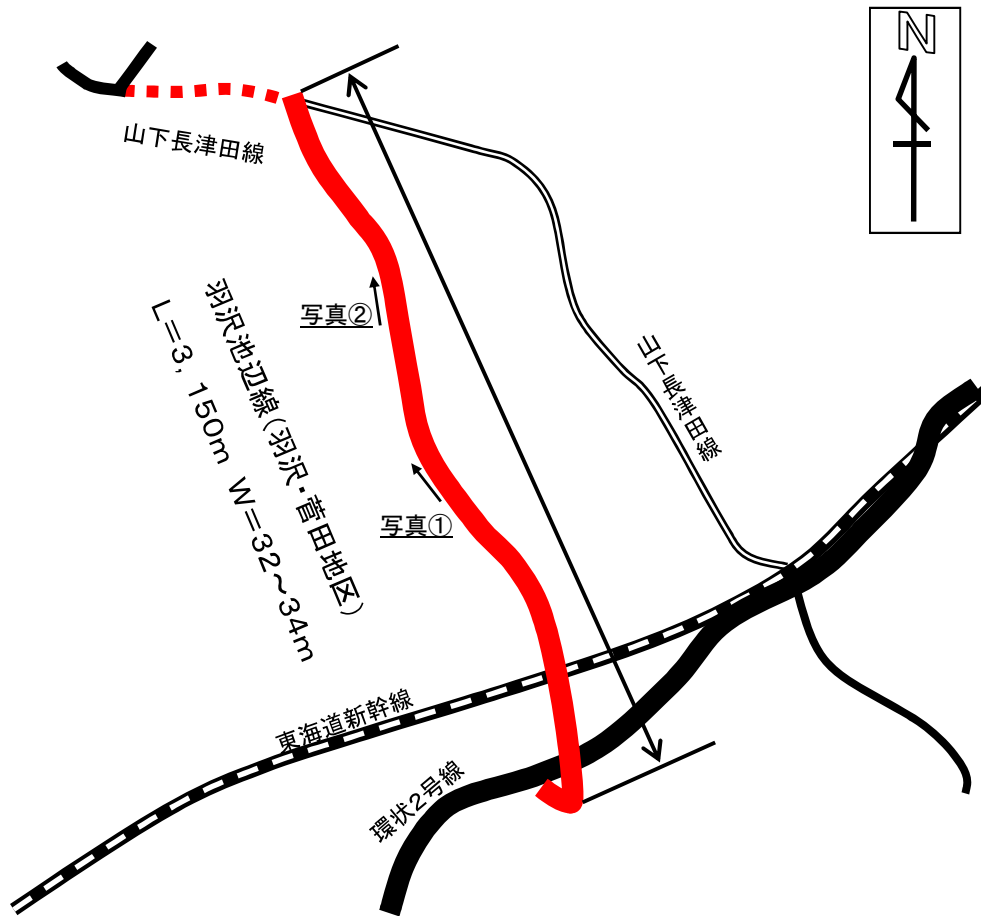
羽沢池辺線(羽沢・菅田地区)
L=3,150m

環状2号線

国道16号

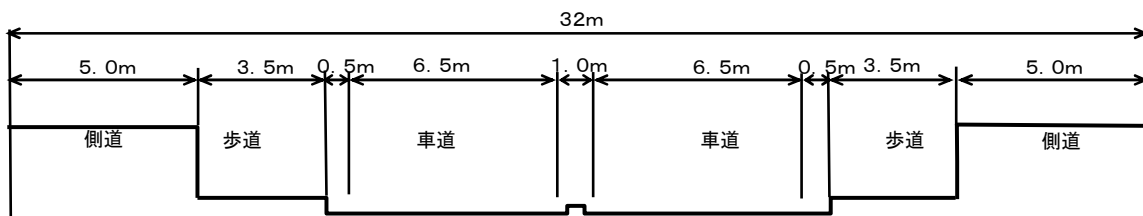
凡 例	
対象区間	
事業中区間	
完成区間 (暫定整備済)	
未整備区間	
国道	
主要地方道	

羽沢池辺線(羽沢・菅田地区)



凡 例	
対象区間	
事業中区間	
完成区間	
未整備区間	

標準横断面図



羽沢池辺線(羽沢・菅田地区)①



羽沢池辺線(羽沢・菅田地区)②



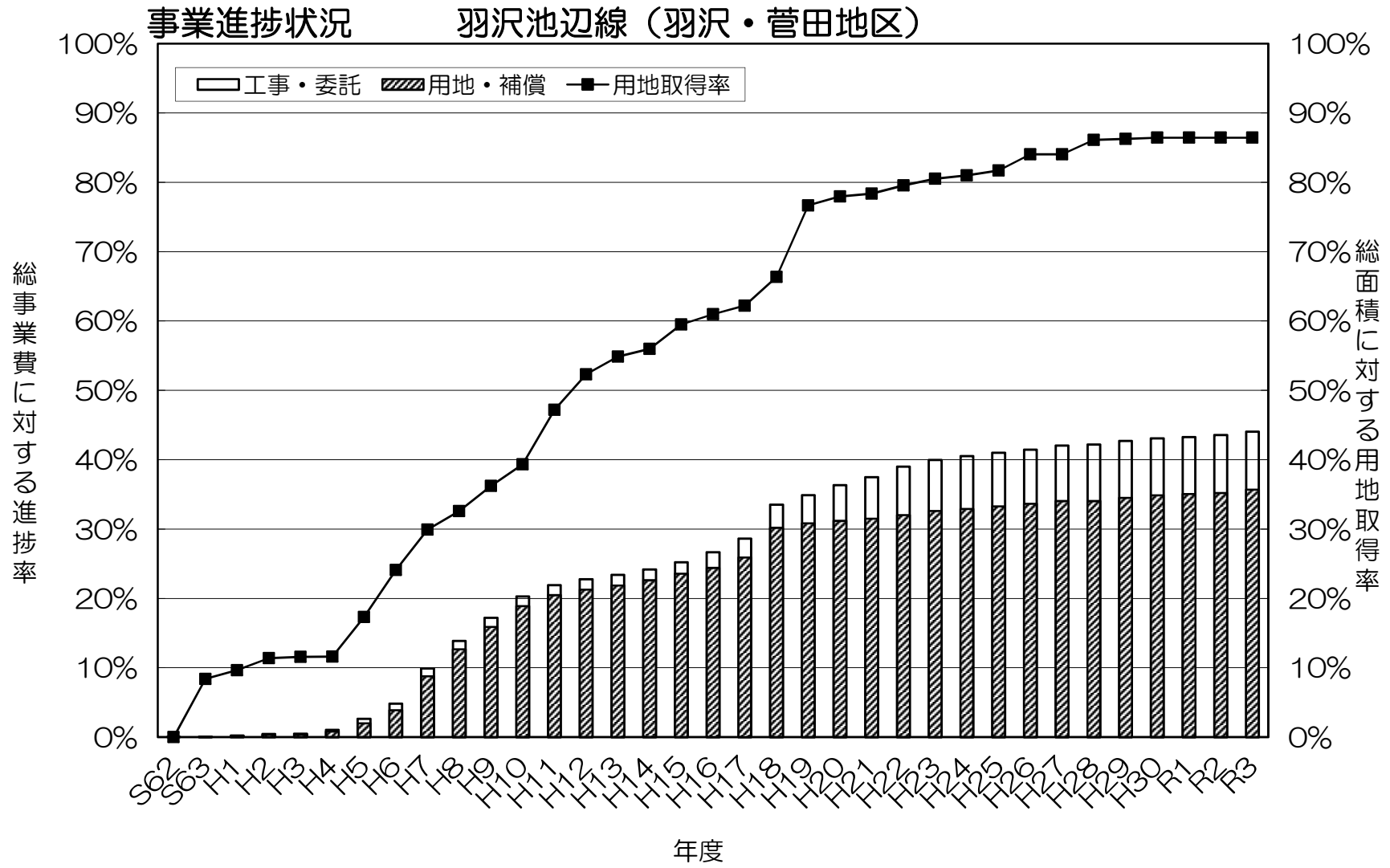
事業進捗状況

羽沢池辺線(羽沢・菅田地区)

(単位：百万円)

年度	単年度事業費			累計事業費			事業進捗率			用地取得		
	合計	用地・補償	工事・委託	合計	用地・補償	工事・委託	合計※1	用地・補償※2	工事・委託※2	取得面積(m ²)	累計(m ²)	用地取得率※3
S62	5	0	5	5	0	5	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0.0%
S63	13	0	13	18	0	18	0.1%	0.0%	0.1%	8,564	8,564	8.4%
H1	61	55	6	80	55	25	0.2%	0.2%	0.1%	1,292	9,856	9.6%
H2	70	66	4	149	121	29	0.4%	0.3%	0.1%	1,800	11,656	11.4%
H3	23	3	19	172	124	48	0.5%	0.4%	0.1%	168	11,824	11.6%
H4	188	150	39	360	274	86	1.0%	0.8%	0.2%	61	11,885	11.6%
H5	554	413	141	914	686	228	2.6%	2.0%	0.7%	5,846	17,731	17.3%
H6	753	655	98	1,667	1,341	326	4.8%	3.9%	0.9%	6,930	24,661	24.1%
H7	1,757	1,694	62	3,423	3,035	388	9.9%	8.8%	1.1%	5,969	30,630	29.9%
H8	1,380	1,343	38	4,804	4,378	426	13.9%	12.7%	1.2%	2,735	33,365	32.6%
H9	1,150	1,116	34	5,954	5,494	460	17.2%	15.9%	1.3%	3,710	37,075	36.2%
H10	1,064	1,042	21	7,018	6,537	481	20.3%	18.9%	1.4%	3,199	40,274	39.3%
H11	566	545	22	7,584	7,081	503	21.9%	20.5%	1.5%	8,032	48,306	47.2%
H12	286	275	11	7,870	7,356	514	22.7%	21.3%	1.5%	5,216	53,522	52.3%
H13	223	209	15	8,093	7,564	529	23.4%	21.9%	1.5%	2,632	56,154	54.9%
H14	269	261	8	8,362	7,826	537	24.2%	22.6%	1.6%	1,135	57,289	56.0%
H15	362	322	40	8,724	8,148	577	25.2%	23.5%	1.7%	3,616	60,904	59.5%
H16	499	290	209	9,224	8,438	786	26.7%	24.4%	2.3%	1,527	62,431	61.0%
H17	680	524	157	9,904	8,961	943	28.6%	25.9%	2.7%	1,233	63,664	62.2%
H18	1,695	1,477	217	11,599	10,439	1,160	33.5%	30.2%	3.4%	4,246	67,910	66.3%
H19	465	226	239	12,064	10,664	1,400	34.9%	30.8%	4.0%	10,560	78,470	76.7%
H20	511	125	387	12,575	10,789	1,786	36.3%	31.2%	5.2%	1,336	79,806	78.0%
H21	394	106	288	12,969	10,895	2,075	37.5%	31.5%	6.0%	411	80,217	78.4%
H22	521	180	341	13,490	11,075	2,415	39.0%	32.0%	7.0%	1,226	81,443	79.6%
H23	343	206	137	13,833	11,281	2,552	40.0%	32.6%	7.4%	986	82,429	80.5%
H24	186	102	84	14,019	11,383	2,636	40.5%	32.9%	7.6%	461	82,890	81.0%
H25	169	130	38	14,187	11,513	2,675	41.0%	33.3%	7.7%	724	83,614	81.7%
H26	156	131	25	14,344	11,644	2,700	41.5%	33.7%	7.8%	2,418	86,032	84.1%
H27	195	130	65	14,539	11,774	2,765	42.0%	34.0%	8.0%	0	86,032	84.1%
H28	55	3	52	14,594	11,776	2,818	42.2%	34.0%	8.1%	2,112	88,143	86.1%
H29	177	163	14	14,770	11,939	2,832	42.7%	34.5%	8.2%	156	88,299	86.3%
H30	139	125	14	14,910	12,064	2,846	43.1%	34.9%	8.2%	168	88,467	86.4%
R1	63	59	4	14,973	12,123	2,850	43.3%	35.0%	8.2%	0	88,467	86.4%
R2	94	59	35	15,067	12,183	2,885	43.5%	35.2%	8.3%	0	88,467	86.4%
R3	177	163	13	15,244	12,346	2,898	44.1%	35.7%	8.4%	0	88,467	86.4%
合計	15,244	12,346	2,898							88,467		

※1 事業進捗率(合計)は全体事業費(様式3参照)に占める各年度までの用地補償費と工事委託費の和
 ※2 事業進捗率(用地補償、工事委託)は全体事業費に占める各年度までの用地補償費もしくは工事委託費の割合
 ※3 用地取得率は事業全体の取得面積(様式3参照)に占める各年度までの取得面積の割合



前回再評価内容との比較

都市計画道路羽沢池辺線（羽沢・菅田地区）

	前回（H23）	今回（R4）	11年間の経過
事業を巡る社会経済情勢等の変化	<p>北部放射幹線道路（本路線を含む）では市街化が進み、大型商業施設の進出等により交通需要が増大しています。また、東部方面線開業により交通需要の増加が見込まれています。</p> <p>鴨居上飯田線、事業中の山下長津田線等と連絡することにより、環状2号線から緑区や都筑区方面へのネットワークが強化されます。</p>	<p>羽沢池辺線は、市内の「内陸北部工業地域」と、貨物駅（横浜羽沢駅）や横浜港等の物流拠点とを結ぶネットワークを構築しています。このうち、「内陸北部工業地域」には大型物流倉庫の開業により、物流の交通需要が増大し、本路線の重要性が高まっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年に横浜北線の開通 平成29年、令和4年に内陸北部工業地域に大型物流倉庫の開業 令和元年に羽沢横浜国大駅開業（相鉄・JR） 令和2年に横浜北西線の開通 令和4年に重要物流道路に指定 令和5年に相鉄東急直通線の開業予定
事業進捗率	39%	44%	+5%
用地取得率	80%	86%	+6%
供用等の状況	—	—	—
事業の進捗見込	<p>環状2号線接続部の本格的な施工に先立ち、環状2号線の北側の側道の切り替えが完了しました。今後は、用地取得が進んでいる、環状2号線接続部の橋梁等の整備を進めます。</p> <p>用地取得については、取得面積が多いため時間を要していますが、引き続き交渉を進めます。</p> <p>用地取得と並行して施工可能な部分の工事を進め、平成30年度に完成する予定です。</p>	<p>令和4年4月より、重要物流道路に指定され、国として物流の観点から重要な道路に位置付けられたことから、今後は事業進捗を見込んでいます。</p> <p>引き続き、用地交渉を進めるとともに、施工可能な部分の工事を行い、令和11年度の完成に向け進めていきます。</p>	<p>平成24年に環状2号線接続部の橋梁（橋台）の整備を行いました。</p> <p>用地取得を行いました。</p>

※前回再評価から全体事業費が変更されている場合等、前回時点での事業進捗率が変化してしまうため、参考として前回使用した事業進捗率を（ ）で示した。